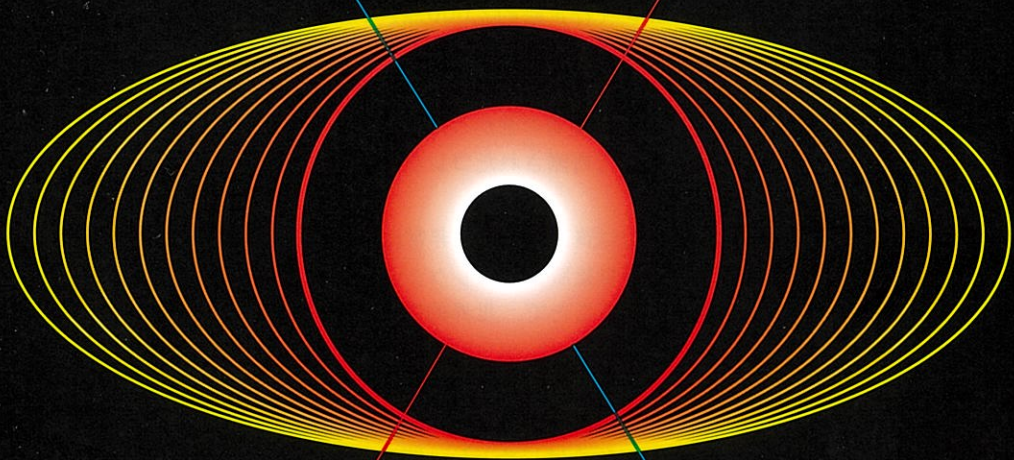


山口県立萩美術館・浦上記念館 開館記念Ⅰ

蒐集家

浦上敏朗の眼

館蔵名品展



平成八年 十月十四日(月)ー十二月二十三日(月)

浮世絵版画展示期間Ⅰ 一期十月十四日～十一月十日 二期十一月十二日～十一月二十三日 三期十一月二十五日～十二月二十三日
開館時間Ⅰ 九時～十六時三十分(入館は十六時まで) オープン初日は十時開館
休館日Ⅰ 毎週月曜日(ただしオープン当日は開館) 月曜日が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館
観覧料Ⅰ 一般七〇〇円 高・大生五二〇円 小・中生三〇〇円(二〇〇円) (は二〇名以上の団体料金
次回予告Ⅰ 開館記念Ⅱ「中国 仙人のふくま」と「山東省文物展」平成九年一月五日～二月十六日

開館記念Ⅰ

蒐集家 浦上敏朗の眼 館蔵名品展



葛飾北斎<風流なくてなぐせ 遠眼鏡>



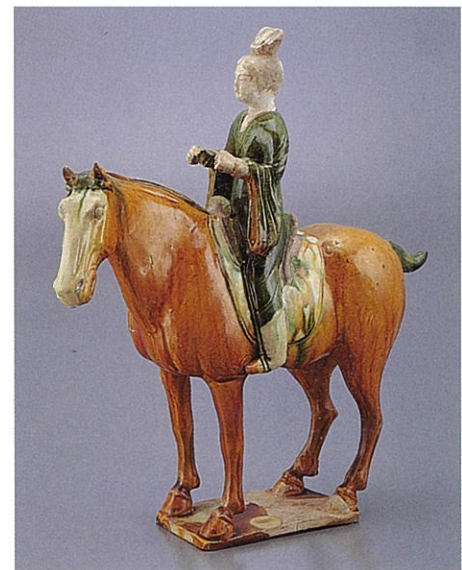
東洲齋写楽<三世市川高麗蔵の志賀大七>



歌川広重<東海道五十三次之内 庄野>



青花 蝦蟇仙人図 輪花鉢 明



三彩 騎馬女子俑 唐

山口県立萩美術館・浦上記念館は、浦上コレクション（浮世絵約2,000点、中国陶磁230点、朝鮮陶磁86点、中国青銅器ほか43点）をもとに設立されました。

ここでいう、浦上コレクションとは、萩市出身の実業家浦上敏朗氏（1926年～）が40年間近くわたり蒐集した美術品群のうち、非常に愛着の強かったジャンルの美術品を中心に、平成5（1993）年に山口県へ一括して寄贈されたコレクションのことです。

浦上コレクションは、個人の蒐集家によるものとしては質、量ともに非常に充実しており、日本美術史や西洋絵画史においても貴重な浮世絵版画のコレクションと、学術的にも価値の高い中国と朝鮮の古陶磁を包含していることで、世界的にも知られています。

浮世絵版画の歴史的展開を概観できるこのコレクションは、春信、歌麿など六大浮世絵師の作品のほか、国貞、国芳、広重など歌川派の作品が充実しています。〈東海道五十三次〉〈名所江戸百景〉のみごとな揃い物をはじめとし、明治期の作品に至るまで、同派の流れの詳細を知るのに十分な内容となっています。

また、古陶磁は中国・朝鮮陶磁の悠久の歴史をたどりながらも、中国古代の人物俑から唐三彩、宋磁、古染付、また朝鮮高麗のすぐれた青磁、李朝の粉青沙器や白磁青花（染付）など、東洋陶磁史のなかでとても魅力的な作品群を構成しています。

本展覧会は、寄贈者浦上敏朗氏自身が、同コレクションの名品、同氏寄贈後に本館設立の趣旨にご賛同された方々からの寄贈美術品、および本館が購入した作品の中から、厳選された作品で構成しました。錦絵以降の浮世絵の展開が概観できる浮世絵版画195点、新石器時代から明代までの中国陶磁154点、高麗から李朝の朝鮮陶磁79点を展示します。総数428点の、浦上コレクションを核とする館蔵名品の数々を堪能されるまたとない機会といえます。



青磁象嵌 菊花文 薬器 高麗

記念講演会

会場：本館講座室

10月14日（月） 入場無料

13:00～14:00「浦上コレクションの浮世絵版画」鈴木重三（近世文芸研究者）

14:30～15:30「浦上コレクションの東洋陶磁」長谷部楽爾（恵泉女学園大学教授）

交通アクセス

●JR東萩駅：タクシー5分／徒歩20分

●JR小郡駅：バス90分（萩バスセンター下車、徒歩10分）

●石見空港（島根県益田市）：バス75分（萩バスセンター終点、徒歩10分）

●中国自動車道：小郡I.C. 美祿I.C. 各50分

●観覧料＝一般720（610）円／高・大生510（410）円／小・中生300（200）円
（ ）は20名以上の団体料金



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM
〒758 山口県萩市平安古586-1 TEL.0838-24-2400